

45. 過去半年間の血漿分画製剤（アルブミン製剤、免疫グロブリン製剤）の保険査定金額と
保険査定率
(2005年4月～9月)

300床未満					
項目	0入力施設数	施設数	最小	最大	平均
査定金額(万円)	75	107	0.1	1391.0	42.16
査定率(%)	63	81	0.0001	100	10.75

300床以上					
項目	0入力施設数	施設数	最小	最大	平均
査定金額(万円)	32	285	0.6	4276.0	137.21
査定率(%)	46	220	0.0002	97.4	5.13

全体(未記入含む)					
項目	0入力施設数	施設数	最小	最大	平均
査定金額(万円)	108	396	0.1	4276	111.5
査定率(%)	111	304	0.0001	100	6.61

5) 輸血副作用について

46. 輸血用血液の副作用をどのように管理されていますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門に報告される体制がある	27	9.00%	206	38.29%	236	27.83%
2	薬剤部門に報告される体制がある	15	5.00%	26	4.83%	42	4.95%
3	検査部門に報告される体制がある	128	42.67%	221	41.08%	354	41.75%
4	院内の委員会などに報告され、検討される	47	15.67%	33	6.13%	80	9.43%
5	病院管理者が個別に把握している	2	0.67%	0	0.00%	3	0.35%
6	主治医にゆだねられている	68	22.67%	49	9.11%	117	13.80%
7	副作用を管理する部門がない	10	3.33%	2	0.37%	12	1.42%
8	その他	3	1.00%	1	0.19%	4	0.47%
	合計	300		538		848	

47. 報告条件は

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	副作用の有無にかかわらずすべて報告してもらう	116	40.28%	319	59.96%	438	52.77%
2	副作用があった症例はすべて報告してもらう	100	34.72%	134	25.19%	240	28.92%
3	中等度以上の副作用があった症例のみ報告してもらう	32	11.11%	51	9.59%	84	10.12%
4	その他	40	13.89%	28	5.26%	68	8.19%
	合計	288		532		830	

48. 報告の方法は

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	用紙運用	204	71.08%	428	80.15%	640	77.02%
2	コンピュータ入力	6	2.09%	43	8.05%	50	6.02%
3	電話・FAX対応	36	12.54%	48	8.99%	85	10.23%
4	その他	41	14.29%	15	2.81%	56	6.74%
	合計	287		534		831	

49. 報告の率は何%くらいでしょうか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ほぼ100%	131	49.62%	254	51.21%	388	50.46%
2	81~99%	30	11.36%	90	18.15%	121	15.73%
3	61~80%	6	2.27%	36	7.26%	43	5.59%
4	41~60%	10	3.79%	19	3.83%	31	4.03%
5	21~40%	6	2.27%	11	2.22%	17	2.21%
6	0~20%	81	30.68%	86	17.34%	169	21.98%
	合計	264		496		769	

50. 重篤な副作用（例えば溶血性副作用やショック発生時など）発生時の緊急連絡体制について

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	電話などで輸血担当部署に連絡することとなっている	93	31.85%	331	62.34%	429	51.50%
2	主治医・診療科で対応し、緊急の連絡はない	179	61.30%	173	32.58%	356	42.74%
3	その他	20	6.85%	27	5.08%	48	5.76%
	合計	292		531		833	

51. 重篤な副作用発生時、輸血責任者・担当者などの対応について

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	病棟へ出向き主治医と対応策について協議することが多い	87	31.75%	154	30.56%	243	30.84%
2	主に電話で対応し、アドバイスなどをすることが多い	31	11.31%	185	36.71%	217	27.54%
3	特に対応せず主治医・診療科にまかせていることが多い	156	56.93%	165	32.74%	328	41.62%
	合計	274		504		788	

52. 輸血副作用発生症例を血液センターへ報告されていますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	報告のあった症例は原則としてすべてセンターへ報告している	84	30.88%	101	19.17%	191	23.61%
2	中等度以上の副作用症例のみ報告している	94	34.56%	351	66.60%	448	55.38%
3	通常はセンターへ報告していない	94	34.56%	75	14.23%	170	21.01%
	合計	272		527		809	

53. 輸血関連急性肺障害 (TRALI) をご存知でしたか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	よく知っている	71	23.91%	298	55.49%	375	44.43%
2	少しは知っている	144	48.48%	199	37.06%	346	41.00%
3	聞いたことがある程度	65	21.89%	35	6.52%	101	11.97%
4	聞いたことがない	17	5.72%	5	0.93%	22	2.61%
	合計	297		537		844	

54. 過去1年間に、輸血関連急性肺障害 (TRALI) を経験されましたか (疑い例も含む)

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	8	2.72%	45	8.40%	53	6.31%
2	いいえ	286	97.28%	491	91.60%	787	93.69%
	合計	294		536		840	

55. 問54で「①はい」の場合、輸血関連急性肺障害 (TRALI) の件数と当該の副作用が原因による死亡数をお答え下さい。また、血液センターに報告した輸血関連急性肺障害 (TRALI) の件数をお答え下さい。(期間 2005年1月～12月)

件数	総数			死亡			センター報告		
	300未満	300以上	全体	300未満	300以上	全体	300未満	300以上	全体
0件	36	51	90	39	76	117	35	50	87
1件	5	30	35	1	7	8	4	26	30
2件	1	9	10	0	1	1	1	8	9
3件	0	2	2	0	0	0	0	2	2
4件	0	1	1	0	0	0	0	1	1

56. 過去1年間に、輸血後GVHDを経験されましたか (疑い例も含む)

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	2	0.68%	6	1.13%	8	0.95%
2	いいえ	294	99.32%	527	98.87%	831	99.05%
	合計	296		533		839	

57. 問 56 で「①はい」の場合、経験症例数は (期間 2005 年 1 月～12 月)

症例／年	300 床未満	300 床以上	全体 (未記入含む)
0 症例	5	8	13
1 症例	1	1	2

58. 過去 1 年間に、放射線未照射の輸血用血液製剤を使用しましたか

番号	項目	300 床未満		300 床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	7	2.37%	64	12.08%	72	8.62%
2	いいえ	288	97.63%	466	87.92%	763	91.38%
	合計	295		530		835	

59. 問 58 で「①はい」の場合、使用比率は (期間 2005 年 1 月～12 月)

300 床未満					
項目	0 入力施設数	施設数	最小	最大	平均
赤血球製剤 (%)	5	3	2.3	100	34.90
血小板製剤 (%)	6	1	100	100	100.00
その他 (%)	3	5	8	100	81.6

300 床以上					
項目	0 入力施設数	施設数	最小	最大	平均
赤血球製剤 (%)	7	47	0.0001	100	6.65
血小板製剤 (%)	39	3	0.1	100	66.7
その他 (%)	35	5	0.07	100	49.41

全体 (未記入含む)					
項目	0 入力施設数	施設数	最小	最大	平均
赤血球製剤 (%)	12	50	0.0001	100	8.34
血小板製剤 (%)	45	4	0.1	100	75.03
その他 (%)	38	10	0.07	100	65.51

60. 過去 1 年間に、輸血用血液の放射線照射による有害事象を経験しましたか

番号	項目	300 床未満		300 床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	3	1.03%	4	0.76%	7	0.85%
2	いいえ	289	98.97%	519	99.24%	818	99.15%
	合計	292		523		825	

61. 問 60 で「①はい」の場合、有害事象の件数は (期間 2005 年 1 月～12 月)

件数	高カリウムによる心停止			ドナー細胞由来の悪性腫瘍発生			その他		
	300 未満	300 以上	全体	300 未満	300 以上	全体	300 未満	300 以上	全体
0 件	1	6	7	1	7	8	0	7	7
1 件	0	2	2	0	0	0	1	0	1

62. 輸血用血液を輸血する前の患者さんの血液検体を保存していますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	216	72.48%	454	84.70%	676	80.09%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	57	19.13%	55	10.26%	115	13.63%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	16	5.37%	14	2.61%	30	3.55%
4	保存していない	9	3.02%	13	2.43%	23	2.73%
	合計	298		536		844	

①又は②の場合、保存期間は何ヶ月ですか。(永久の場合は99.9と記入)

月	300床未満	300床以上	全体(未記入含む)
1.0未満	4	9	13
1	24	10	35
1.5	0	2	2
2	8	9	17
3	22	16	39
4	3	5	9
5	0	2	2
6	25	40	67
7	1	3	4
8	0	2	2
9	0	2	2
10	0	4	4
12	43	82	126
13~17	1	5	7
18	2	8	10
19~23	0	3	3
24	79	179	259
30	0	1	1
36	6	25	31
37~47	0	1	1
48	0	3	3
60	11	15	26
72	1	0	1
84	0	1	1
120	1	4	5
240	1	1	2
300	0	1	1
永久保存	22	31	54
0.5~1.0 (1件)、2~3 (1件)、3~4 (1件) 12~24 (1件) 未定 (1件) 約36 (1件)			

63. 輸血用血液を輸血する前に患者さんの感染症の検査をしていますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの輸血前検査をしている	210	70.95%	378	70.79%	596	70.95%
2	特別な場合以外、ほとんど検査していない	59	19.93%	130	24.34%	191	22.74%
3	していない	27	9.12%	26	4.87%	53	6.31%
	合計	296		534		840	

64. 問 63 で①を選択した場合は感染症の検査項目は 複数回答項目

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	HBs 抗原	208	98.58%	379	98.70%	595	98.67%
2	HBs 抗体	64	30.33%	130	33.85%	198	32.84%
3	HBc 抗体	53	25.12%	104	27.08%	160	26.53%
4	HCV 抗体	206	97.63%	375	97.66%	589	97.68%
5	HCV コア抗原	41	19.43%	82	21.35%	126	20.90%
6	HTLV-Ⅰ抗体	4	1.90%	23	5.99%	27	4.48%
7	HIV 抗体	83	39.34%	181	47.14%	269	44.61%
8	梅毒	163	77.25%	292	76.04%	458	75.95%

65. 輸血用血液を輸血した後に患者さんの感染症の検査をしていますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの輸血後検査をしている	79	26.78%	165	31.13%	246	29.46%
2	特別な場合以外、ほとんど検査していない	153	51.86%	312	58.87%	473	56.65%
3	していない	63	21.36%	53	10.00%	116	13.89%
	合計	295		530		835	

66. 問 65 で①を選択した場合は感染症の検査項目は 複数回答項目

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	HBs 抗原	35	40.70%	73	42.44%	108	41.54%
2	HBs 抗体	12	13.95%	22	12.79%	34	13.08%
3	HBc 抗体	9	10.47%	15	8.72%	24	9.23%
4	HBV 核酸増幅検査(NAT)	46	53.49%	104	60.47%	152	58.46%
5	HCV 抗体	38	44.19%	70	40.70%	108	41.54%
6	HCV コア抗原	48	55.81%	112	65.12%	162	62.31%
7	HTLV-Ⅰ抗体	2	2.33%	11	6.40%	13	5.00%
8	HIV 抗体	73	84.88%	150	87.21%	225	86.54%
9	梅毒	17	19.77%	39	22.67%	56	21.54%

67. 輸血による細菌感染症をご存知でしたか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	よく知っている	106	35.45%	303	56.42%	414	48.94%
2	少しは知っている	152	50.84%	214	39.85%	370	43.74%
3	聞いたことがある程度	37	12.37%	18	3.35%	56	6.62%
4	聞いたことがない	4	1.34%	2	0.37%	6	0.71%
	合計	299		537		846	

68. 過去1年間に、輸血による細菌感染症を経験されましたか（疑い例も含む）

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	1	0.34%	5	0.93%	6	0.71%
2	いいえ	293	99.66%	532	99.07%	835	99.29%
	合計	294		537		841	

69. 問68で「①はい」の場合、輸血による細菌感染症の件数と当該の副作用が原因による死亡数をお答え下さい。また、血液センターに報告した細菌感染症の件数をお答え下さい。
 (期間 2005年1月～12月)

件数	総数			死亡			センター報告		
	300未満	300以上	全体	300未満	300以上	全体	300未満	300以上	全体
0件	10	18	29	8	19	28	8	15	24
1件	1	5	6	0	1	1	1	5	6

70. 血漿分画製剤の副作用をどのように管理されていますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門に報告される体制がある	9	3.18%	15	2.94%	25	3.11%
2	薬剤部門に報告される体制がある	87	30.74%	257	50.29%	349	43.41%
3	検査部門に報告される体制がある	19	6.71%	15	2.94%	35	4.35%
4	院内の委員会などに報告され、検討される	33	11.66%	33	6.46%	67	8.33%
5	病院管理者が個別に把握している	2	0.71%	1	0.20%	3	0.37%
6	主治医にゆだねられている	109	38.52%	151	29.55%	261	32.46%
7	副作用を管理する部門がない	20	7.07%	26	5.09%	47	5.85%
8	その他	4	1.41%	13	2.54%	17	2.11%
	合計	283		511		804	

71. 報告の方法は

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	用紙運用	131	52.19%	264	57.39%	401	55.69%
2	コンピュータ入力	4	1.59%	18	3.91%	22	3.06%
3	電話・FAX対応	50	19.92%	110	23.91%	161	22.36%
4	その他	66	26.29%	68	14.78%	136	18.89%
	合計	251		460		720	

72. 血漿分画製剤を使用する前に患者さんの血液検体を保存していますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	24	8.57%	26	5.19%	50	6.32%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	13	4.64%	7	1.40%	21	2.65%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	69	24.64%	110	21.96%	181	22.88%
4	保存していない	174	62.14%	358	71.46%	539	68.14%
	合計	280		501		791	

①又は②の場合、保存期間は何ヶ月ですか。(永久の場合は99.9と記入)

月	300床未満	300床以上	全体(未記入含む)
0.5	0	1	1
1	8	1	10
2	3	3	6
3	4	0	4
4	0	2	2
5	0	0	0
6	2	2	4
12	3	3	6
20	0	1	1
24	7	9	16
36	2	1	3
120	0	1	1
永久保存	4	3	7
3~4 (1件)			

73. 貴施設では発生したすべての輸血副作用を毎年集計していますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	112	38.75%	291	55.22%	407	49.27%
2	いいえ	177	61.25%	236	44.78%	419	50.73%
	合計	289		527		826	

74. ABO 不適合輸血以外の溶血性副作用の件数と当該の副作用が原因による死亡数をお答え下さい。
 また、血液センターに報告した ABO 不適合輸血以外の溶血性副作用の件数をお答え下さい。
 (期間 2005 年 1 月～12 月)

件数	総数			死亡			センター報告		
	300 未満	300 以上	全体	300 未満	300 以上	全体	300 未満	300 以上	全体
0 件	145	296	445	129	309	442	128	291	423
1 件	2	14	16	0	0	0	1	6	7
2 件	2	2	4	0	0	0	0	5	5
3 件	0	0	0	0	0	0	0	3	3
4 件	1	0	1	0	0	0	0	2	2
5 件	0	3	3	0	0	0	0	1	1
6 件	1	1	2	0	0	0	0	0	0
7 件	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 件	0	1	1	0	0	0	0	2	2
9 件	0	3	3	0	0	0	0	1	1
10 件	0	1	1	0	0	0	0	0	0
11～20	0	4	4	0	0	0	0	1	1
21～30	0	2	2	0	0	0	0	0	0
31～40	0	2	2	0	0	0	0	0	0
41～50	0	1	1	0	0	0	0	0	0
51～60	0	0	0	0	0	0	0	0	0
61～70	0	2	2	0	0	0	0	0	0
71～80	0	0	0	0	0	0	0	0	0
81～90	0	1	1	0	0	0	0	0	0
91～100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
101～200	0	1	1	0	0	0	0	0	0
201～300	0	1	1	0	0	0	0	0	0
301～400	0	1	1	0	0	0	0	0	0

75. 非溶血性副作用の件数を軽症例と中等症～重症例に分けてお答え下さい。中等症～重症例では当該の副作用が原因による死亡数をお答え下さい。また、血液センターに報告した非溶血性副作用の件数をお答え下さい。
 (期間 2005 年 1 月～12 月)

<軽症* (非溶血性副作用)>

件数	総数			センター報告		
	300 未満	300 以上	全体	300 未満	300 以上	全体
0 件	82	49	133	122	226	351
1 件	14	24	38	4	38	42
2 件	10	17	28	1	21	23
3 件	11	12	23	1	18	19
4 件	5	11	16	0	8	8
5 件	4	9	13	0	8	8
6 件	1	10	11	0	3	4
7 件	3	5	9	0	3	3
8 件	0	6	6	0	1	1
9 件	0	8	8	0	2	2
10 件	0	6	6	0	1	1
11～20	2	33	36	0	3	3
21～30	5	31	36	0	1	1
31～40	0	27	29	0	1	1

41～50	0	10	10	0	0	0
51～60	0	13	13	0	0	0
61～70	1	10	11	0	0	0
71～80	0	9	9	0	0	0
81～90	0	9	9	0	0	0
91～100	0	3	3	0	0	0
101～200	1	25	26	0	0	0
201～300	0	8	8	0	0	0
301～400	0	1	1	0	0	0
401～500	0	0	0	0	0	0
501～600	0	1	1	0	0	0

<中等症～重症** (非溶血性副作用)>

件数	総数			死亡			センター報告		
	300未満	300以上	全体	300未満	300以上	全体	300未満	300以上	全体
0件	127	164	295	124	291	419	118	173	295
1件	11	43	54	1	6	7	8	50	58
2件	2	31	33	0	2	2	0	34	34
3件	0	24	24	0	2	2	0	19	19
4件	1	18	19	0	0	0	0	18	18
5件	0	10	10	0	0	0	0	10	10
6件	0	8	8	0	0	0	0	3	3
7件	0	6	6	0	0	0	0	1	1
8件	0	6	6	0	0	0	0	3	3
9件	0	3	3	0	0	0	0	0	0
10件	0	2	2	0	0	0	0	1	1
11～20	0	7	7	0	0	0	0	2	2
21～30	0	2	2	0	0	0	0	0	0

76. 貴施設は厚生労働省「輸血用血液及び細胞療法の安全性に関する研究班」の輸血副作用管理指定施設に指定されていますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	29	6.65%	29	4.25%
2	いいえ	238	100.00%	407	93.35%	654	95.75%
	合計	238		436		683	

6) 輸血過誤による ABO 異型輸血について

77. 過去 1 年間 (2005 年 1 月 1 日～2005 年 12 月 31 日) に輸血過誤による ABO 型異型輸血が発生しましたか

番号	項目	300 床未満		300 床以上		全体 (未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	1	0.34%	17	3.19%	18	2.14%
2	ない	295	99.66%	516	96.81%	822	97.86%
	合計	296		533		840	

「①ある」場合、症例数

症例/年	300 床未満	300 床以上	全体 (未記入含む)
0 症例	0	1	1
1 症例	0	16	16

78. 貴機関での ABO 異型輸血防止対策について特記すべきことがあればご記入ください。

巻末 【別紙 2】を参照

7) 貯血式自己血輸血について (1 年間: 2005.1.1～2005.12.31)

79. 貯血式自己血輸血の実績

300 床未満						
項目	数量	0 入力施設数	施設数	最小	最大	平均
全血	単位	49	170	1	1132	94.02
	袋 (本)	31	162	1	566	49.59
MAP	単位	123	11	2	151	65.77
	袋 (本)	98	11	1	83	35.27
FFP	単位	126	5	4	92	59.6
	袋 (本)	101	5	2	60	33.2
フィブリン糊	単位	129	0			
	袋 (本)	105	0			
血小板糊	単位	129	1	10	10	10.00
	袋 (本)	105	1	1	1	1.00

300 床以上						
項目	数量	0 入力施設数	施設数	最小	最大	平均
全血	単位	14	488	1	2104	307.99
	袋 (本)	13	479	1	1091	164.51
MAP	単位	219	91	2	2258	394.81
	袋 (本)	191	90	1	1304	202.16
FFP	単位	214	92	2	2332	319.87
	袋 (本)	188	91	1	1415	165.59
フィブリン糊	単位	260	24	2	2068	226.79
	袋 (本)	233	31	1	1034	122.45
血小板糊	単位	273	8	1	1393	334.25
	袋 (本)	246	10	1	136	47.2

全体（未記入含む）						
項目	数量	0入力施設数	施設数	最小	最大	平均
全血	単位	64	666	1	2104	252.36
	袋（本）	44	649	1	1091	135.25
MAP	単位	346	105	2	2258	355.98
	袋（本）	292	104	1	1304	182.33
FFP	単位	344	99	2	2332	307.72
	袋（本）	292	98	1	1415	159.40
フィブリン糊	単位	394	25	2	2068	218.12
	袋（本）	342	32	1	1034	118.69
血小板糊	単位	407	9	1	1393	298.22
	袋（本）	355	11	1	136	43.00

80. 貯血式自己血輸血の保存方法はどのようにしていますか 複数回答項目

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	全血保存	207	97.64%	516	96.45%	732	96.83%
2	成分保存 （赤血球成分/新鮮凍結血漿）	8	3.77%	96	17.94%	106	14.02%
3	凍結保存	1	0.47%	21	3.93%	22	2.91%

81. 静脈穿刺しているのは誰ですか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	医師	100	46.95%	323	60.60%	428	56.69%
2	看護師	67	31.46%	105	19.70%	174	23.05%
3	医師及び看護師	45	21.13%	104	19.51%	151	20.00%
4	臨床検査技師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	1	0.47%	1	0.19%	2	0.26%
	合計	213		533		755	

82. 問81で①又は③の場合、静脈穿刺している医師は

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の医師	0	0.00%	33	7.67%	33	5.65%
2	担当医	139	94.56%	346	80.47%	491	84.08%
3	輸血部門の医師および担当医	2	1.36%	30	6.98%	32	5.48%
4	その他	6	4.08%	21	4.88%	28	4.79%
	合計	147		430		584	

その他記入一覧

300床未満	
依頼医師	1
血液腫瘍科医師	1
静脈が細く、採血困難な場合には担当医が採血する	1
麻酔科医	1
輸血責任医師	1

300 床以上	
各科の主治医	1
血液内科医師	1
指示曜日による各科交代制	1
自己血採血する患者の主治医が採血する	1
自己血採血室担当医	1
心大血管手術-麻酔科医 それ以外-各部署の医師	1
診療科輪番制	1
整形外科・外科・婦人科・小児科の医師	1
担当医または麻酔科医	1
日本輸血学会認定医	1
病棟担当医	1
麻酔科医	3
輸血業務兼任の血液内科医師	1
輸血担当血液腫瘍科医	1
輸血認定医が血液内科なので、血液内科医師2名で専任として行っている	1
輸血部 血液内科医師のみ	1
臨床病理学教室の医師および担当医	1

83. 自己フィブリン糊を作製していますか

番号	項目	300 床未満		300 床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	作製している	2	0.88%	37	7.02%	40	5.24%
2	作製していない	226	99.12%	490	92.98%	724	94.76%
	合計	228		527		764	

84. 主として使用している採血バッグの形状について

番号	項目	300 床未満		300 床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	針付バッグ	163	78.37%	369	70.55%	539	72.84%
2	針なしバッグ	29	13.94%	68	13.00%	97	13.11%
3	針付バッグと針なしバッグの併用	16	7.69%	86	16.44%	104	14.05%
	合計	208		523		740	

②又は③の場合、針なしバッグを使用する理由一覧

巻末 【別紙 3】を参照

85. 過去1年間（2005年1月～2005年12月）に血管迷走神経反射を経験しましたか

件数	Ⅰ度			Ⅱ度			Ⅲ度		
	300未満	300以上	全体	300未満	300以上	全体	300未満	300以上	全体
0件	149	273	426	154	318	477	154	341	501
1件	6	38	46	0	18	18	0	1	1
2件	1	20	21	0	5	6	0	0	0
3件	0	12	12	0	4	4	0	0	0
4件	0	2	2	0	0	0	0	0	0
5件	0	8	8	0	1	1	0	0	0
6件	0	8	8	0	0	0	0	0	0
7件	0	1	1	0	0	0	0	0	0
8件	0	1	1	0	0	0	0	0	0
9件	0	3	3	0	0	0	0	0	0
10件	0	1	1	0	0	0	0	0	0
11～20	0	3	3	0	0	0	0	0	0
不明	0	6	6	0	5	5	0	5	5

86. 過去1年間（2005年1月～2005年12月）の貯血式自己血輸血採血の総件数は

300床未満					
項目	0入力施設数	施設数	最小	最大	平均
採血回数	39	163	1	463	41.93

300床以上					
項目	0入力施設数	施設数	最小	最大	平均
採血回数	8	465	1	1277	191.6

全体（未記入含む）					
項目	0入力施設数	施設数	最小	最大	平均
採血回数	47	636	1	1277	152.56

87. 過去1年間（2005年1月～2005年12月）で貯血式自己血輸血において細菌感染および疑い例はありましたか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	1	0.47%	3	0.57%	4	0.53%
2	ない	211	99.53%	525	99.43%	745	99.47%
	合計	212		528		749	

「①ある」場合、症例数

症例／年	300床未満	300床以上	全体（未記入含む）
0症例	2	0	3
1症例	1	1	2
2症例	0	2	2

8) 血液法及び薬事法、指針の改訂について

88. 「血液法」および「薬事法」には医療関係者の責務が記載されていますが、その内容をご存知ですか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	102	34.58%	288	53.63%	391	46.44%
2	だいたい知っている	150	50.85%	235	43.76%	390	46.32%
3	いいえ	40	13.56%	14	2.61%	57	6.77%
4	その他	3	1.02%	0	0.00%	4	0.48%
	合計	295		537		842	

89. 「薬事法」に規定された特定生物由来製品使用時の製剤名、製剤番号、ロット番号、患者氏名、患者住所などを記録し、20年間の保管義務が明記されていますが、その保管方法をお答え下さい

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液製剤の伝票をそのまま綴じている	58	19.33%	74	13.75%	134	15.80%
2	管理簿を作って記載している	109	36.33%	91	16.91%	201	23.70%
3	コンピュータで記録している	130	43.33%	353	65.61%	489	57.67%
4	その他	3	1.00%	20	3.72%	24	2.83%
	合計	300		538		848	

90. 改正薬事法では特定生物由来製品による感染症などの副作用が発生した場合、医療機関は厚生労働省に報告する義務があることが記載されていますが、このことに取り組んでいますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	取り組んでいる	112	38.23%	288	54.65%	402	48.43%
2	取り組んでいない	58	19.80%	48	9.11%	109	13.13%
3	現在検討中である	123	41.98%	191	36.24%	319	38.43%
	合計	293		527		830	

91. 問90で「①取り組んでいる」場合、報告体制を記入して下さい

巻末【別紙 4】を参照

92. 「生物由来製品感染等被害救済制度」が平成16年4月1日から施行されたのをご存知ですか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	知っている	208	70.75%	466	86.94%	682	81.19%
2	知っているが、内容がわからない	65	22.11%	58	10.82%	125	14.88%
3	知らない	21	7.14%	12	2.24%	33	3.93%
	合計	294		536		840	

93. 「生物由来製品感染等被害救済制度」について輸血同意説明書に明記し、説明していますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	明記して説明している	51	18.21%	122	24.02%	176	22.08%
2	明記していないが説明している	61	21.79%	110	21.65%	172	21.58%
3	明記も説明もしていない	168	60.00%	276	54.33%	449	56.34%
	合計	280		508		797	

94. 「輸血療法の実施に関する指針」および「血液製剤の使用指針」が改訂され、平成17年9月に公表されたことをご存知ですか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	知っている	249	84.69%	512	95.34%	770	91.56%
2	知っているが、内容がわからない	37	12.59%	23	4.28%	61	7.25%
3	知らない	8	2.72%	2	0.37%	10	1.19%
	合計	294		537		841	

95. 「輸血療法の実施に関する指針」は輸血検査管理実施体制などが記載され、「血液製剤の使用指針」には血小板製剤を含む輸血の適応の基本的な考え方が記載されていますが、その内容をご存知ですか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	110	37.67%	347	64.62%	461	55.01%
2	だいたい知っている	162	55.48%	180	33.52%	347	41.41%
3	いいえ	20	6.85%	10	1.86%	30	3.58%
4	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	合計	292		537		838	

96. 血液法と改正薬事法の理念および上記の両「指針」について、輸血療法委員会を通じて院内に周知していますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	十分周知徹底している	55	19.16%	198	37.50%	255	30.91%
2	内容まで十分知らせていない	178	62.02%	276	52.27%	461	55.88%
3	全くしていない	40	13.94%	32	6.06%	73	8.85%
4	その他	14	4.88%	22	4.17%	36	4.36%
	合計	287		528		825	

9) 輸血療法関連の診療報酬体系について

97. 日本輸血学会では平成18年度の診療報酬改定に向け「輸血管理料1及び2」(参照資料2)を要望していますが、ご存じですか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	知っている	190	64.63%	463	85.90%	660	78.29%
2	知っているが、内容がわからない	41	13.95%	41	7.61%	83	9.85%
3	知らない	63	21.43%	35	6.49%	100	11.86%
	合計	294		539		843	

98. もし仮に、平成18年に要望のような輸血管理料(参照資料2)が設定されたとしたら、貴施設では積極的に参加されますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	139	48.26%	387	73.02%	534	64.57%
2	いいえ	50	17.36%	27	5.09%	77	9.31%
3	わからない	99	34.38%	116	21.89%	216	26.12%
	合計	288		530		827	

99. 問98で「②いいえ」又は「③わからない」場合、その理由を記入して下さい

巻末 【別紙 5】を参照

【特別集計 1】

病床数あたりの製剤使用量 (2005年1月～12月)

計算式 製剤別血液製剤使用量÷病床数

300床未満					
項目	数量	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	10	0.0053	4.9828	0.7882
	袋(本)	9	0.0053	2.4310	0.3801
赤血球製剤	単位	266	0.0056	22.2100	4.0001
	袋(本)	252	0.0057	12.8710	2.4109
血小板製剤	単位	243	0.0278	183.9259	4.3367
	袋(本)	231	0.0050	16.3630	0.4023
新鮮凍結血漿	単位	229	0.0074	56.6452	1.9774
	袋(本)	216	0.0052	17.8553	0.8478
自己血	単位	172	0.0056	4.0429	0.4354
	袋(本)	165	0.0067	2.2304	0.2242
アルブミン製剤	g	246	0.1374	688.1902	36.8917

300床以上					
項目	数量	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	46	0.0011	10.4942	0.6135
	袋(本)	45	0.0011	5.5027	0.3072
赤血球製剤	単位	506	0.0028	33.3652	7.3102
	袋(本)	485	0.0483	18.1301	4.0038
血小板製剤	単位	503	0.0227	173.2906	13.1151
	袋(本)	481	0.0029	19.1300	1.2021
新鮮凍結血漿	単位	501	0.0028	43.3539	4.4350
	袋(本)	481	0.0048	14.2939	1.8429
自己血	単位	483	0.0028	8.3964	0.6430
	袋(本)	472	0.0029	2.6667	0.3352
アルブミン製剤	g	451	0.0213	814.1357	56.6308

全体					
項目	数量	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	56	0.0011	10.4942	0.6447
	袋(本)	54	0.0011	5.5027	0.3193
赤血球製剤	単位	772	0.0028	33.3652	6.1697
	袋(本)	737	0.0057	18.1301	3.4591
血小板製剤	単位	746	0.0227	183.9259	10.2557
	袋(本)	712	0.0029	19.1300	0.9426
新鮮凍結血漿	単位	730	0.0028	56.6452	3.6641
	袋(本)	697	0.0048	17.8553	1.5345
自己血	単位	655	0.0028	8.3964	0.5885
	袋(本)	637	0.0029	2.6667	0.3064
アルブミン製剤	g	697	0.0213	814.1357	49.6641

【特別集計 2】

実施患者あたりの製剤使用量 (2005年1月～12月)

計算式 製剤別血液製剤使用量÷実施患者数(合計)

300床未満					
項目	数量	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	7	0.0072	3.3898	0.7520
	袋(本)	7	0.0053	1.0678	0.2886
赤血球製剤	単位	248	0.0061	103.0000	6.5566
	袋(本)	238	0.2857	73.4545	3.7317
血小板製剤	単位	226	0.0304	264.1489	6.5634
	袋(本)	218	0.0109	23.5000	0.6272
新鮮凍結血漿	単位	212	0.0061	61.5385	2.5500
	袋(本)	204	0.0085	16.0909	1.0193
自己血	単位	164	0.0061	3.6667	0.5153
	袋(本)	160	0.0064	2.0476	0.2744
アルブミン製剤	g	230	0.3160	904.6371	54.9652

300床以上					
項目	数量	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	42	0.0007	3.6112	0.2127
	袋(本)	42	0.0007	2.1055	0.1223
赤血球製剤	単位	436	0.0036	885.7500	8.5919
	袋(本)	422	0.0839	465.5000	4.7933
血小板製剤	単位	434	0.0230	1967.5000	15.6436
	袋(本)	419	0.0103	188.2500	1.4577
新鮮凍結血漿	単位	432	0.0036	161.0000	3.9657
	袋(本)	419	0.0090	86.2500	1.7580
自己血	単位	424	0.0036	3.4880	0.5364
	袋(本)	416	0.0068	1.9441	0.2834
アルブミン製剤	g	400	0.0179	1656.8750	56.5586

全体(未記入含む)					
項目	数量	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	51	0.0007	3.6112	0.2931
	袋(本)	51	0.0007	2.1055	0.1503
赤血球製剤	単位	692	0.0036	885.7500	7.8239
	袋(本)	668	0.0839	465.5000	4.3934
血小板製剤	単位	668	0.0230	1967.5000	12.4557
	袋(本)	645	0.0103	188.2500	1.1657
新鮮凍結血漿	単位	652	0.0036	161.0000	3.4852
	袋(本)	631	0.0085	86.2500	1.5084
自己血	単位	596	0.0036	3.6667	0.5338
	袋(本)	584	0.0064	2.0476	0.2827
アルブミン製剤	g	637	0.0179	1656.8750	57.4737

【特別集計 3】

廃棄率 (2005年1月～12月)

計算式 廃棄量÷製剤別血液製剤使用量

300床未満					
項目	数量	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	4	0.2301	2.0000	0.8450
	袋(本)	4	0.2500	1.7143	0.8655
赤血球製剤	単位	242	0.0044	4.2500	0.1604
	袋(本)	226	0.0044	4.5000	0.1603
血小板製剤	単位	51	0.0017	2.0000	0.0824
	袋(本)	45	0.0017	0.5000	0.0576
新鮮凍結血漿	単位	168	0.0016	2.3333	0.1828
	袋(本)	154	0.0016	2.0000	0.1822
自己血	単位	106	0.0124	5.8333	0.2960
	袋(本)	103	0.0105	6.0000	0.3010
アルブミン製剤	g	45	0.0002	1.0000	0.0762

300床以上					
項目	数量	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	16	0.0204	1.4000	0.3863
	袋(本)	17	0.0204	1.4000	0.4183
赤血球製剤	単位	492	0.0008	1.0000	0.0694
	袋(本)	472	0.0007	1.8750	0.0642
血小板製剤	単位	340	0.0001	1.0000	0.0213
	袋(本)	322	0.0003	0.2500	0.0127
新鮮凍結血漿	単位	474	0.0004	8.2500	0.0881
	袋(本)	453	0.0009	8.5000	0.0866
自己血	単位	398	0.0061	11.7647	0.1971
	袋(本)	386	0.0062	4.6667	0.1790
アルブミン製剤	g	126	0.0001	2.2776	0.0304

全体(未記入含む)					
項目	数量	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	20	0.0204	2.0000	0.4781
	袋(本)	21	0.0204	1.7143	0.5035
赤血球製剤	単位	743	0.0008	4.2500	0.0989
	袋(本)	707	0.0007	4.5000	0.0948
血小板製剤	単位	397	0.0001	2.0000	0.0291
	袋(本)	373	0.0003	0.5000	0.0182
新鮮凍結血漿	単位	650	0.0004	8.2500	0.1119
	袋(本)	615	0.0009	8.5000	0.1100
自己血	単位	511	0.0061	11.7647	0.2178
	袋(本)	496	0.0062	6.0000	0.2045
アルブミン製剤	g	174	0.0001	2.2776	0.0417